

2010.7.30訪問



# 青年部員の 仕事所に行きつた 聞いてきた 第十一回 加藤組さん

今回の訪問先は、青年部のドン？加藤大武さんが勤務されている株式会社加藤組さんです。

(文・加藤勇次)

加藤組さんは昭和23年創業。地域の土木建設業の要として、道路や下水、開発造成工事などを行っています。意外に知られていませんが、不動産賃貸業や、美笠通のJOMOのガソリンスタンドも加藤組さんが経営されています。



# 社員とともに 誇りをもって地域に貢献する!



お勧めの本  
読書による自己啓発を  
経営の礎に。  
北尾吉孝さんの  
「何のために働くのか」  
クリス・アンダーソン著  
「FREE フリー」  
書店にて、是非お買い求めを。

## 「フロントワーク」について教えてください

「うれしい」と思っていることは何ですか？  
社員が誇りをもって作業にあたり、よい仕事をしてくれたときです。  
ツライことは？

沢山ある。でも「言い訳せずなんでもやる」と決めて取り組んでいる。  
仕事を通じて学んだことは？  
いざ困った時に、地道な活動を理解してくれていた人が目の前に現れ  
助けてくれるものだ、ということ。

仕事で工夫していること  
社員の平均年齢が30代であり、社員全員がその若さと実力を意欲的に  
発揮できる環境を整えることが自分の仕事と思っています。夏の土木  
工事、たとえ草刈り業務であっても、汗だけで一日作業していること  
が、地域の人の笑顔や経済活動の基盤につながっていることを、常に  
伝えていきます。

### 災害時の対応について

全く知られていませんが、災害時に第一線で活動するのは地元根付  
いた土木建設業者です。増水の時などは橋梁や堤防などを見回り、  
公共団体と常に連絡し合って、被害を未然に、また最小限に抑える  
手立てを尽くしています。

## 今後の展望について教えてください

近年の業界の事情について  
十年前と比べると、公共やトヨタ関連など民間の総工事受注額は4割  
に減少しているという実感があります。加えて、リーマンショック以  
降のデフレの進行が、受注価格のダンピングを引き起こし、正常な利  
益が確保できず、依然、厳しい状況におかれています。

### 地域貢献活動

厳しい時代ではありますが、岐阜工業高校のインターシップや川まつ  
りの準備、定期的な地域の清掃活動など、地域貢献活動を続けていき  
ます。